

はなしょうだより

<https://www.chubu-matsusaka.com/hanaoka/>

TEL 0598-23-2225

2023年度全国学力・学習状況調査の結果・分析と今後の取組について

4月18日に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が、8月末に文部科学省から公表されました。今回は、国語、算数の調査が行われました。その中で、国語につきましては、全国の平均正答率をわずかながら下回りましたが、算数は全国の平均正答率を上回る結果となりました。

	国 語		算 数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本 校	9.2問/14問	66%	10.2問/16問	63%
みえけん 三重県	9.4問/14問	67%	9.9問/16問	62%
ぜん 国	9.4問/14問	67.2%	10.0問/16問	62.5%

新型コロナウイルス感染症の拡大により、臨時休校や分散登校などの措置が取られた3年生から5年生までの期間は、子どもたちにとって、じっくりと学習に取り組むことが難しい3年間でした。また、人との関わりや行動等に制限がある学校生活や新しい生活様式への転換などが求められ、さまざまな不安を抱きながらの生活が続いた3年間でもありました。

そのような状況下でも、一定の成果を得られたことは、日々の授業や教育活動における取組の成果の表れであるとともに、保護者の皆様や地域の皆様の学校に対するご理解ご協力のおかげであると考えます。

本校におきましては、これからも、確かな学力の定着をめざした取組を進めるとともに、学校教育目標に掲げている「笑顔・元気・やさしさあふれる花岡小」の実現をめざし、一人ひとりの子どもたちにしっかりと寄り添いながら教育活動を進めていきたいと考えています。

1 教科に関する調査の結果・分析

こ 国	つよ 強 み	<p>目的に応じて、文章の中から必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構築したりする力がついているかどうかをみる問題において、本校の正答率は72.8%と全国の67.4%と比較して5.4ポイント高く、目的に応じて、文章と図表などを結び付け、必要な情報を見付けることができる力がついていると考えられます。</p>
	よわ 弱 み	<p>原因と結果や情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる問題において、本校の正答率は60.9%と全国の64.7%より3.8ポイント低くなっていました。出来事などのような原因によって起きたのかを把握したり、その原因や結果を明らかにしたりするために、情報と情報との関係を結び付けて捉えることに課題があると考えられます。</p>
さん 算	つよ 強 み	<p>台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題では、本校の正答率は72.8%と全国の59.8%と比較して13.0ポイント高くなっており、示された図形が台形であることや、向かい合った一組の辺が平行であるという台形の定義について理解していると考えられます。</p>
	よわ 弱 み	<p>「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができるかどうかをみる問題において、本校の正答率は69.6%と全国の75.7%より6.1ポイント低くなっていました。データの特徴を捉え考えたり、必要になってくるデータを分類整理したり、表に表したりする力に課題があると考えられます。</p>

2 質問紙調査に関する調査の結果・分析

本校の6年生は、「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」という質問に対して、肯定的に回答した子は、昨年度と比較して、8.7ポイント上昇しました。(R4:59.3% R5:68.0%) このことは、日々の授業やよりよい人間関係を築くために必要な力を身に付けることをめざした「花笑タイム」において、子どもたち一人ひとりにとって居心地のよい学級づくりに向けた取組を進めてきた成果と考えます。

一方で、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」という質問に対して、肯定的に回答した子は65.0%と全国と比べて5.7ポイント低くなっていました。子どもたち自らが「もっと知りたい」「もっと調べたい」と思えるような授業づくりを進めるとともに、携帯電話やスマートフォン等の使用時間や使い方についても丁寧に指導していきたいと考えています。

保護者の皆様におかれましても、携帯電話やスマートフォンの使い方について、お子さんと話し合っただけ、各ご家庭のルールを決めていただくなど、子どもたちが計画的に家庭学習にと取り組むことができるための環境づくりにご協力をお願いします。